中学　年生　～なりたい自分に向かって～

年　　　組　名前

長所（よい面・成長した部分）	短所（直していきたい部分）
好きなこと・得意なこと	今、一番がん張っていること
将来の夢・目標	今年の新たな挑戦！

決意表明

学習面の目標	そのために
生活面の目標	そのために
係活動の目標	そのために

担任から

家族から

中学　年生に向かう自分

年　　組　名前

長所（よい面・成長した部分）	短所（直していきたい部分）

決意表明の振り返り

新たな挑戦について

学習面の目標について

生活面の目標について

係活動の目標について

来年度の自分に手紙を書こう

担任から

中学　年生　~なりたい自分に向かって~

年　　組　名前

長所（よい面・成長した部分）	短所（直していきたい部分）

中学生の中には自己の生き方に不安を抱く生徒もいます。前学年の振り返りで記入した「自分のよいところ・好きなところ」や、先生、保護者の方からの励ましの内容をもとに、自分のよさを再認識できるようにします。

好きなこと・得意なこと	今、一番頑張っていること

「好きなこと・得意なこと」、「今、一番がん張っていること」、「将来の夢」が本人にとって自分を知るきっかけとなります。また、こうした自己理解が、進路を考えていくきっかけになります。
よさを自覚すると同時に、自分の課題点が見えてきます。それが今年の目標設定につながります。

将来の夢・目標	今年の新たな挑戦！

中学生は、新しい友達や教科担任制による多様な教師との出会い、社会的関心が広がります。そうした中、進路の選択など、新たな環境や課題に直面します。

中学校では、進路実現に向けて、現実を見つめ、自覚できるよう、「今年の新たな挑戦」を考え、実践していこうとする意欲をもたせます。

決意表明

目標	そのために
学習面の目標	そのために
生活面の目標	そのために
係活動の目標	そのために

「目標」の欄には、なりたい自分に向けて自分の伸ばしたいところ、課題と感じているところ等、今の自分と向き合って記入します。「そのために」は、その目標を実現するために、どんな場で何をするのか等、具体的な場面を想像しながら記入します。

学級という組織の一員として、集団生活の向上のために自分の役割を自覚し、主体的に活動していくことができるよう、自分の役割についての目標を立てさせます。具体的な場面を例示し、学習、生活と同様、生徒自身がどんな場で何をすべきかを具体的に記入します。
生徒一人一人に今年どんな力を付けたいのかを考え、個に応じて声をかけることが大切です。認め励ましながら書き進められるようにします。

生徒の願いを受け止め、願いの実現に向けて頑張りたいという思いをもつことがきるよう、励ましの言葉や、課題と感じている部分をどのように克服していくとよいかを具体的に書きます。先生が自分を応援してくれていると感じ、安心して頑張ることができるようにすることが大切です。

担任から	家族から

中学　年生に向かう自分

年　　組　名前

長所（よい面・成長した部分）

短所（直していきたい部分）

自分のよさを見つめ直し、１年を通して新たなよさ（長所）になったことや、継続して自分のよいところだと思うことを記入します。年度内に仲間と認め合う場を位置付けることで、新たなよさに気付くことができます。書いた後に、「今年の始めはどんなことを書いていましたか。確認してみましょう。」と声をかけると、１年間の成長を自覚できる振り返りになります。

決意表明の振り返り

新たな挑戦について

学習面の目標について

生活面の目標について

係活動の目標について

来年度の自分に手紙を書こう

来年度、頑張りたいと思っていることを書くことで、次年度のよりよいスタートにつながります。また、今年の頑張れた自分を認めるような文があるとよいです。
「去年は、〇〇を頑張っていましたね。今年は、さらに、〇〇にもちょう戦してみよう。」等

担任から

年度当初に立てた目標に対して生徒が頑張っていた姿を書いたり、１年で成長したことについてコメントを書いたりします。（来年度の始めの「長所」につながります。）